

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	額田ダシまつり補助事業			130321	担当課	夜久野支所	
	開始年度	平成18(2006)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	衣川 正彦		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	86	頁	
	施策の大綱	文化財の保護・保存			関連計画等	-		
	施策名	文化財を適切に保護・保存する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	京都府及び福知山市無形民族文化財に登録されている額田のダシまつり(江戸時代から続く独自の伝統文化)を後世に継承し、観光資源として広くPRする。						
	対象者	観光客及び額田地域住民	対象者数	10,000	一人当たりコスト	0.11		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 「額田ダシ振興会」・「額田区自治会長会」						
	事業概要	「額田ダシ振興会」及び「額田区自治会長会」に補助金を交付する。 額田ダシまつりの概要 ・実施日:10月第2土曜日、日曜日 ・実施場所:夜久野町額田地内 ・事業内容:宣伝用チラシやポスターの製作及び案内看板の設置や、上ダシ・下ダシ(五穀豊穡に感謝して野菜等の「つくりもん」)を制作、展示する。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		額田のダシ振興会への補助		広報活動に対する補助			140	
額田区自治会長会への補助		ダシ制作に対する補助			90			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		245	230	226	223	
		補正予算等・・・②		0	0	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
		財源内訳	一般財源		245	91	0	0
			国支出金		0	0	0	0
			府支出金		0	0	0	0
			地方債		0	0	0	0
	その他特財		0	139	226	223		
	特定財源名称 (H29実績)	企業版ふるさと納税寄附金			139	寄附金	34 頁	
							頁	
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.11/0	0.11/0	0.11/0	/		
	概算人件費・・・④		880	880	880			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			1,125	1,110	1,106			
執行状況	執行額・・・⑥		245	230				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		入り込み客数	人	6,000/10,000	5,000/10,000	/10,000	10,000	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		下ダシ製作数	個	7 / 7	7 / 7	/ 7	7	
		単位あたりコスト		35.0	32.9			
		上ダシ製作数	個	2 / 2	2 / 2	/ 2	2	
単位あたりコスト		122.5	115.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	地域文化を継承・創造する個性ある地域づくりに対する支援が必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	事業の大半は、地元負担で賄っている。平成30年度も補助金の一部を減額した。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	京都府登録無形民族文化財に指定されており、地域文化の継承だけではなく、特色ある観光資源としての価値も注目されている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	夜久野学園や保育園のダシ制作により、伝統文化の継承目的は達成できているが、入込客数は減少している。		
	今後の課題及び方向性	入込客数の減少により、観光振興に問題があるが、地域文化を継承・創造する個性ある地域づくりに向けて、市として支援を継続する必要がある。 また、「福知山観光地域づくりセンター」・「海の京都、森の京都DMO」等と連携し、インバウンド対策、PR戦略等を検討して行く。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史ある伝統文化の継承として本事業は有効だと判断。効率性を高めるべく検討願いたい。</li> <li>・イベントの多い季節になるので、来場者数の分散をふさぐため、日程の見直しや、他のイベントと連携した取組みも模索されてもよいのかと思いました。</li> <li>・ダシ振興会への補助金の財源として、府の補助金を確保できないか調査してほしい。</li> <li>・観光地域づくりセンター等とも連携しPRなど工夫し、より多くの人に来てもらえる工夫(たとえば、スタンプラリーや他のイベントとの連携など)をしていただきたい。</li> <li>・補助金を30年度予算において、少し削減されているが、そもそも算出根拠を示すべき。</li> </ul>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<b>方針区分</b>  <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<b>内 容</b>  ○額田ダシ振興会補助については、平成30年度に補助金2.5%の削減を行い、協賛金等資金獲得を増やし、平成31年度についても事業費の補助の見直しを行う。 (府の補助金については対象事業がない) ○「福知山観光地域づくりセンター」・「海の京都、森の京都DMO」等と連携し、インバウンド対策、PR戦略等を検討して行く。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)  <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	文化財保護事業 (640101)			担当課	文化・スポーツ振興課		
	開始年度	平成1(1989)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	森下邦治		
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)社会教育総務費	決算附属資料	244	頁	
	施策の大綱	文化財の保護・保存			関連計画等	-		
	施策名	文化財を適切に保護・保存する			根拠法令等	文化財保護法・福知山市文化財に関する条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	福知山市に残された貴重な文化遺産を後世へと伝えるため文化財保護審議会の指導助言を得て文化財の指定等を行うとともに、適切な文化財の保護・保全のための行政指導をおこなう。						
	対象者	全市民	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.06		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (委託先・実施主体等) (有)チームワーク						
	事業概要	・文化財保護審議会の開催(年度内3回) ・文化財の指定及び調査研究						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		報酬		文化財保護審議会委員報酬			144	
旅費		職員旅費・委員旅費			152			
需用費		消耗品・燃料費・光熱水費			29			
委託料		運転委託			28			
役務費他		役務費5、使用賃借37、負補交1			43			
関連事業	なし							
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		436	436	0	0	
		補正予算等・・・②		5	23	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		441	459	0	0	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		0	0	0	0	
		特定財源名称(H29実績)					頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.51/0.06	0.48/0.05	0/0	/	
概算人件費・・・④		4,230	3,965	0				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			4,671	4,424	0			
執行状況	執行額・・・⑥		369	396				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		83.7%	86.3%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		文化財指定件数	件	1/1	8/1	/	1	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		未指定文化財調査件数	事業	1/1	4/2	/	2	
		単位あたりコスト		369.0	99.0			
		単位あたりコスト						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	・文化財全体の保護・保全について市民のニーズは捉えにくい。 ・指定は法令上、行政にしかできない。 ・文化財の保護・保存の優先度は高い
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・効率的な調査の実施を行うことがコスト削減に直結している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、年1件の指定を掲げており適切である。 ・活動実績についても、見込みどおり実施している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	未指定文化財の調査研究結果に基づき、文化財保護審議会での審議を経て目標通り年1件以上の指定を行っており適切に業務をおこなっている。	
	今後の課題及び方向性	・時代の流れを反映した指定が必要である。 ・平成29年度実施の棚卸し事業を受けて、平成30年度からは文化財啓発事業と統合を行い、文化財保護啓発事業として実施。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	平成30年度に文化財保護事業と文化財啓発事業を統合し、文化財保護啓発事業として実施。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	文化財保全事業 (640103)			担当課	文化・スポーツ振興課	
	開始年度	平成4(1992)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	森下邦治	
	歳出費目	款) 教育費	項) 社会教育費	目) 社会教育総務費	決算附属資料	244	頁
	施策の大綱	文化財の保護・保存			関連計画等	-	
	施策名	文化財を適切に保護・保存する			根拠法令等	福知山市文化財保全事業補助金交付要綱	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	国・府・市指定文化財の保全・保護を図り、後世に貴重な文化財を伝える。					
	対象者	国・府・市指定文化財	対象者数	17	一人当たりコスト	286.71	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (委託先・実施主体等)					
	事業概要	所有者の実施する指定文化財にかかる修理・保全・防災事業について助言を行うとともに補助金を支給する。補助割合 国・府1/2以内 市1/4以内。					
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費	
	負担金補助及び交付金	指定文化財所有者が行う自火報維持管理や修繕への補助			2,109		
	関連事業	なし					
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①	1,265	1,813	1,800	1,800	
		補正予算等・・・②	0	296	0	0	
		繰越し等・・・③	0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源	1,265	899	1,800	1,800	
		国支出金	0	0	0	0	
		府支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	0	1,210	0	0	
		特定財源名称(H29実績)	福知山市企業版ふるさと納税寄附金		1,210	寄附金	34
							頁
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.18/0.14	0.33/0.05	0.33/0.05	/		
	概算人件費・・・④	1,790	2,765	2,765			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		3,055	4,874	4,565			
執行状況	執行額・・・⑥		867	2,109			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		68.5%	100.0%			
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		維持管理・修繕未解決事項	-	0	0		0
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		維持管理・修繕実施件数	件	8/13	16/11	/12	-
		単位あたりコスト		108.4	131.8		
		単位あたりコスト					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・維持管理、修繕のニーズは高い ・財団等の補助はあるが確実性は低い ・後世に伝えるため文化財の保護・保存ため優先度は高い
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・所有者負担は全事業費の1/4以上であり妥当な割合である。 ・専門的な見地が必要であり、コスト比較は難しい部分がある。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・年度ごとに申請件数の増減があり、成果目標を立てにくい。事前相談などで次年度以降の見込み目標数値を決めていく必要がある。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	貴重な文化財を後世に伝え残すことは地域資源として次世代への投資ともなっており、補助事業としては有効である。達成状況については、年度ごとに増減があるため件数としての評価は難しい。	
	今後の課題及び方向性	補助事業の実施により、貴重な文化財を保護し未来へと伝えることができ、今後も継続して実施していく。課題は、京都府は既に対応を行っているが、未指定文化財への補助についてどのように対応していくか検討が必要である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
		所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	補助事業者である指定文化財所有者と補助内容について協議調整の上、文化財の適切な維持・管理のため支援を行う。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		



平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	夜久野町化石・郷土資料館運営事業 (640105)			担当課	文化・スポーツ振興課		
	開始年度	昭和53(1978)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	森下邦治		
	歳出費目	款) 教育費	項) 社会教育費	目) 社会教育総務費	決算附属資料	244	頁	
	施策の大綱	文化財の保護・保存			関連計画等	-		
	施策名	文化財を適切に保護・保存する			根拠法令等	夜久野町化石・郷土資料館条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	・市民共有の財産である文化財の適切な保管と収集 ・文化財保護・愛護のための普及啓発活動 ・地域学習のための生涯学習資料の提示 以上3点を事業目的とする						
	対象者	全市民	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.03		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (委託先・実施主体等) アムス・セキュリティサービス㈱						
	事業概要	夜久野町化石・郷土資料館の管理運営						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目	具体的な内容				H29経費	
		賃金	臨時職員賃金				1,098	
需用費		消耗品費・燃料費・光熱水費等				227		
役務費		通信運搬費				64		
委託料		機械警備				27		
負担金補助及び交付金	農匠の郷やくの管理費負担金、農匠の郷やくの連協負担金				117			
関連事業	なし							
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①	1,547	1,547	1,508	717		
		補正予算等・・・②	18	0	0	0		
		繰越し等・・・③	0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源	1,531	1,513	1,466	675		
		国支出金	0	0	0	0		
		府支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他特財	34	34	42	42		
		特定財源名称(H29実績)	化石・郷土資料館使用料	32	使用料	10	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.04/0.1	0.04/0.15	0.04/0.15	/		
概算人件費・・・④		570	695	695				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		2,135	2,242	2,203				
執行状況	執行額・・・⑥		1,565	1,533				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	99.1%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		入館者数	人	525/1000	598/1000	/1000	1000	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		体験学習	件	1/2	1/1	/1	1	
		単位あたりコスト		1,565.0	1,533.0			
		単位あたりコスト						

		項 目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	・現状では営利目的の施設としては難しい
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・効率性を求めるならば、施設の設備、役割、目的を明確にする必要がある
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	×	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	×	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・施設の老朽化が著しく、展示の見直し及び収蔵資料の有効活用を検討する必要がある
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	×	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	×	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	化石という地域資源を活かした施設としては特徴的である。目的及び指標の達成にはやや至っていない部分がある。		
	今後の課題及び方向性	施設の老朽化に伴う設備の課題、専門的人員の確保の課題、資料の保管に関する課題など課題が多い。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	効率的な運営を行い、出前展示を積極的に実施する。  <b>【H29棚卸しによる見直し状況】</b> 施設運営については開館日の見直しを行っている。資料活用については出前展示の実施を検討した。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		



平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	日本の鬼の交流博物館運営事業			640106	担当課	文化・スポーツ振興課		
	開始年度	平成5(1993)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	森下邦治			
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)社会教育総務費	決算附属資料	244	頁		
	施策の大綱	文化財の保護・保存			関連計画等	-			
	施策名	文化財を適切に保護・保存する			根拠法令等	福知山市日本の鬼の交流博物館条例			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	・世界の鬼にかかわる資料の収集と保存と公開、情報発信 ・大江山に関する資料の収集と保存と公開、情報発信 ・有形、無形民俗文化財資料の収集と保存と公開 ・資料の展示、閲覧 以上4点を事業目的とする。							
	対象者	全市民	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.19			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (委託先・実施主体等) アムス・セキュリティサービス(株)、(株)クリア、(株)スリーエス、タキノデンキ(株)他							
	事業概要	施設の管理・運営 来館者への案内、レファレンス							
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目	具体的な内容				H29経費		
		需用費	消耗品、光熱水費等				4,453		
役員費		電話料、浄化槽検査法定点検、建物損害保険				185			
委託料		機械警備、浄化槽保守点検、床清掃、除雪等				1,429			
使用料及び賃借料		複写機、印刷機、AEDリース、テレビ受信料等				347			
備品購入費	除湿機				45				
関連事業									
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①	6,231	6,231	6,123	14,807			
		補正予算等・・・②	7	228	0	0			
		繰越し等・・・③	0	0	0	0			
	財源内訳	一般財源	3,490	3,712	3,858	3,079			
		国支出金	0	0	0	0			
		府支出金	0	0	0	0			
		地方債	0	0	0	0			
		その他特財	2,748	2,747	2,265	11,728			
		特定財源名称(H29実績)	鬼の交流博物館使用料	2,073	使用料	10	頁		
		鬼文化研究所使用料	15	使用料	12	頁			
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.09/2.80	0.18/2.70	0.18/2.70	/				
	概算人件費・・・④	7,720	8,190	8,190					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		13,958	14,649	14,313					
執行状況	執行額・・・⑥		6,225	6,459					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		99.8%	100.0%					
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		入館者数	人	7581/10000	8406/10000	/10000	10000		
		取材等に伴うマスメディア登場回数	回	19/25	27/25	/25	25		
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		特別(企画)展の回数	回	3/3	3/3	/3	3		
		単位あたりコスト		2,075.0	2,153.0				
	単位あたりコスト								

		項 目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・鬼をテーマとした地域づくりの拠点である ・現状では営利目的の運営は厳しい ・地域づくりの手段として必要な施設であり管理運営は優先度が高い
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・入館に際しては入館料を徴収しており受益者負担は妥当である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・入館者数が目標値に達していない。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	福知山市の地域資源である鬼をテーマにした全国的にも珍しい施設である。鬼文化の資料収集を積極的に行うことにより、報道関係・冊子等の取材、資料の貸し出しに関する問い合わせ等も多く、福知山市の文化的施策としてのPR効果は大きい	
	今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化に伴う設備の課題、維持管理、修繕費等の発生</li> <li>・専門的職員の配置</li> </ul>		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建設から25年が経ち、どうあるべきかを根本から考えて欲しい。博物館としての配置、見せ方で良いのか。展示物の価値を最大限生かしているか。見る側の視点に立っているか。ホール内のいすの常置やテーマ展示の方法が適切かなど、見直すべき点は多岐にわたる</li> <li>・成果指標に、報道(テレビ、新聞、雑誌等)で活用された数を入れて、目標管理すること</li> <li>・設備改修と事業統合を検討されたい。入館者数も増加しているが、少なくとも維持できるように展示方法etc、より一層工夫を(工夫はされていると思うが)</li> </ul>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 廃止/休止</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替</li> <li><input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 事業の見直しなし</li> </ul>	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p style="text-align: center;">予算額の反映状況(対H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持</li> <li><input type="checkbox"/> 縮減</li> <li><input type="checkbox"/> 拡充</li> <li><input type="checkbox"/> 組替</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止/休止</li> </ul>	<p style="text-align: center;">「日本の鬼の交流博物館設備改修事業」と統合し、施設の維持管理を継続して行うとともに、見る側の視点に立ち、魅力的な展示につながるよう展示方法の検討、工夫を図る。</p>	
			<p style="text-align: center;">担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	文化財整理事業 (640107)			担当課	文化・スポーツ振興課		
	開始年度	平成1(1989)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	森下邦治		
	歳出費目	款) 教育費	項) 社会教育費	目) 社会教育総務費	決算附属資料	244・246	頁	
	施策の大綱	文化財の保護・保存			関連計画等	-		
	施策名	文化財を適切に保護・保存する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財資料の整理作業</li> <li>・埋蔵文化財保管倉庫、文化財整理事務所の維持管理費</li> </ul> 以上2点を事業目的とする。						
	対象者	文化財資料	対象者数	100,000	一人当たりコスト	0.03		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (委託先・実施主体等) アムス・セキュリティサービス㈱						
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財整理事務所の管理運営</li> <li>文化財資料の保存活用を進めるため整理施設として管理運営を行う。</li> <li>・埋蔵文化財保管倉庫の管理運営</li> <li>埋蔵文化財出土品の適切な保管と管理を行うため施設管理と運営を行う。</li> <li>・未整理文化財の整理を行い、展示及び教材として活用を行う。</li> </ul>						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費		
		賃金	臨時職員賃金			311		
需用費		消耗品、燃料費、光熱水費			225			
役務費		通信運搬費、保険料			99			
使用料及び賃借料		複写機使用料			169			
	共済費・委託料・備品購入費	労災保険料1、機械警備27、備品購入393			421			
関連事業								
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①	1,383	1,383	735	1,333		
		補正予算等・・・②	△ 28	0	0	0		
		繰越し等・・・③	0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源	1,353	1,381	735	1,333		
		国支出金	0	0	0	0		
		府支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他特財	2	2	0	0		
		特定財源名称(H29実績)	電柱等設置占用料		2	使用料	12	頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.13/0.1	0.12/0.1	0.12/0.1	/		
		概算人件費・・・④	1,290	1,210	1,210			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		2,645	2,593	1,945				
執行状況	執行額・・・⑥		1,261	1,225				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		93.1%	88.6%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		資料の保管状況	-	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		ミニ企画展	回	1/2	1/2	/2	2	
		単位あたりコスト		1,261.0	1,225.0			
		単位あたりコスト						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・文化財資料は地域資源である。この地域資源の保管は市民の財産であり今後の活用が期待できる。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・展示回数が多ければ良いものでもなく、受益者との負担関係、単位あたりコストを明確にするのは難しい。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・資料の保管は文化財保護の基本であり成果目標は適切である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	文化財資料の整理作業及び文化財資料を保管する施設の維持管理は後世に貴重な文化財を伝え残すのに不可欠なものである。また、資料の劣化、散逸を防ぎ後世に伝えるためにも有効である。	
	今後の課題及び方向性	・施設の老朽化に伴う設備の課題、維持管理、修繕費等の発生		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	文化財収蔵庫維持管理事業を統合し、効率的な予算執行を行う。	
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	文化財資料移転事業		640123	担当課	文化・スポーツ振興課		
	開始年度	平成28(2016)	終了予定年度	平成31(2019)	作成責任者	森下邦治		
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)社会教育総務費	決算附属資料	246	頁	
	施策の大綱	文化財の保護・保存			関連計画等	福知山市公共施設マネジメント計画		
	施策名	文化財を適切に保護・保存する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	公共施設マネジメント計画に基づき、文化財資料収蔵施設の統廃合を進める。市内各所に点在している資料を一括管理できるとともに、集約した資料の分類・整理を行う。						
	対象者	統合文化財施設	対象者数	7	一人当たりコスト	390.00		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (委託先・実施主体等) 岡山県貨物運送(株)福知山営業所						
	事業概要	・資料集約のための移転運搬 ・集約した資料の分類・整理						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目	具体的な内容				H29経費	
		共済費	労災保険料				2	
賃金		臨時職員賃金				608		
需用費		消耗品費				14		
役務費		廃棄物手数料				64		
委託料	資料移転業務委託				285			
関連事業								
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算…①	1,590	2,690	690	631		
		補正予算等…②	0	△ 770	0	0		
		繰越し等…③	0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源	1,590	1,920	690	631		
		国支出金	0	0	0	0		
		府支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他特財	0	0	0	0		
		特定財源名称(H29実績)				頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.07/0.1	0.07/0.1	0.07/0.1	/		
概算人件費…④		810	810	810				
総事業費(①+②+③+④)…⑤		2,400	2,730	1,500				
執行状況	執行額…⑥		1,297	973				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		81.6%	50.7%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		施設を統合した数	件	5/7	6/7	/0	0	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		移転件数	件	2/2	1/2	/0	0	
		単位あたりコスト		648.5	973.0			
		単位あたりコスト						

		項 目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・公共施設マネジメント計画に基づき実施している事業でありニーズ・優先度ともに高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・移転にかかる費用(コスト)は複数者の見積もり徴取により決定しているため妥当な水準である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・計画通りに実施がなされ有効性は高い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	公共施設マネジメント計画に基づき計画的に文化財資料収蔵施設の統合を進めた。このことにより、市内各所に保管してある資料を一括管理することができ、後世に貴重な文化財を伝えることができる。	
	今後の課題及び方向性	保管のみでなく、資料の整理・分類を続けていく必要があり、平成30年度は資料の整理・分類に力を入れていく。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見 ・5施設への移転、整備で十分なのか。収集・保存保管・一部公開を一元的に進められるようなハード・ソフト両面からのあり方を模索して欲しい。今のままではもったいない。ここを取り扱い、価値を高めていくのが学芸員の本来の仕事ではないか		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	公共施設マネジメント計画に基づき資料収蔵施設の統合を行う上で移転した資料の整理分類は必要な業務である。平成31年度は新町文化センターの資料移転が予定されており、引き続き移転資料の整理分類業務を行う必要がある。また、収蔵品の公開について検討を行う。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		



平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	小・中学校保管歴史資料悉皆調査事業		640124	担当課	文化・スポーツ振興課		
	開始年度	平成28(2016)	終了予定年度	平成30(2018)	作成責任者	森下邦治		
	歳出費目	款) 教育費	項) 社会教育費	目) 社会教育総務費	決算附属資料	246	頁	
	施策の大綱	文化財の保護・保存			関連計画等	-		
	施策名	文化財を適切に保護・保存する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	市内小中学校の統廃合により学校教科書等の歴史資料が散逸する恐れが出てきているため、悉皆調査を行い所在の把握と保管の検討を行う。						
	対象者	学校保管歴史資料	対象者数	4,576	一人当たりコスト	0.26		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (委託先・実施主体等)						
	事業概要	・平成28年度 資料把握のための悉皆調査 ・平成29年度 資料詳細調査と資料のデジタル化 ・平成30年度 資料詳細調査と資料のデジタル化						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		報償費		調査員謝礼			120	
旅費		担当者旅費			12			
需用費		消耗品費			104			
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		369	329	259	0	
		補正予算等・・・②		△ 60	0	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		309	329	259	0	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		0	0	0	0	
		特定財源名称(H29実績)					頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.04/0.25	0.03/0.25	0.03/0.25	/	
		概算人件費・・・④		945	865	865		
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			1,254	1,194	1,124			
執行状況	執行額・・・⑥		212	236				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		68.6%	71.7%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		調査資料数	件	4240/1000	336/500	/	4576	
	デジタル化資料数	点	200/200	6539/1000	/400	7139		
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		調査実施校	校	29/15	8/8	/	37	
		単位あたりコスト		7.3	29.5			
単位あたりコスト								

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・社会的にも学校の統廃合による学校保管資料の散逸が心配されている中での取り組みであり時代のニーズに適合している。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・市職員が直接調査を実施しており、必要最小限度のコストとなっている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・計画通りに実施がなされ有効性は高い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	市内小中学校に保管してある資料を把握することができ、後世に貴重な文化財を伝えることができる。また、学習教材としても活用が図れる。	
	今後の課題及び方向性	各小中学校での保管体制をつくる必要であり、平成30年度は各学校へ保管管理に関する件について調整を行う。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書誌としてまとめて発刊することも検討して欲しい(学校単位の沿革誌とは別に)</li> <li>・今後の展開に苦労はあると思いますが、活用していただけるよう方策をお願いします(学校の先生による資料の活用)</li> </ul>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止</li> <li><input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替</li> <li><input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 事業の見直しなし</li> </ul>	<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>平成30年度にて事業終了。今後は資料の活用について学校側と協議調整を進める。</p>	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況(対H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持    <input type="checkbox"/> 組替</li> <li><input type="checkbox"/> 縮減    <input type="checkbox"/> 廃止/休止</li> <li><input type="checkbox"/> 拡充</li> </ul>	<p>担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	市内遺跡発掘調査事業(国庫補助事業)			640125	担当課	文化・スポーツ振興課		
	開始年度	平成23(2011)	終了予定年度	平成31(2019)	作成責任者	森下邦治			
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)社会教育総務費	決算附属資料	246	頁		
	施策の大綱	文化財の保護・保存			関連計画等	-			
	施策名	文化財を適切に保護・保存する			根拠法令等	文化財保護法			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	埋蔵文化財の保護保存のため、川北地区圃場整備事業に伴う川北遺跡の範囲内容確認発掘調査と大江町高津江のキツネ山古墳群から出土した金属製品類の劣化を防ぐため保存処理を行う。							
	対象者	埋蔵文化財	対象者数	2	一人当たりコスト	1,822.50			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (委託先・実施主体等) (公財)シルバー人材センター、(株)吉田生物研究所							
	事業概要	・川北遺跡発掘調査 遺跡の範囲内容確認 ・保存処理 キツネ山古墳群発掘調査で出土した金属製品の保存処理							
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目	具体的な内容				H29経費		
		賃金	臨時職員賃金				249		
需用費		消耗品、燃料費、印刷製本費				115			
委託料		作業委託、保存処理				1,204			
使用料及び賃借料		自動車借上料、重機使用料				435			
共済費・旅費・役務費・補償	共済費1、旅費8、役務費12、補償20				41				
関連事業									
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①	2,000	2,000	2,000	2,000			
		補正予算等・・・②	11	45	0	0			
		繰越し等・・・③	0	0	0	0			
	財源内訳	一般財源	511	545	500	500			
		国支出金	1,000	1,000	1,000	1,000			
		府支出金	500	500	500	500			
		地方債	0	0	0	0			
		その他特財	0	0	0	0			
		特定財源名称(H29実績)	市内遺跡発掘調査事業		1,000	国補助金	20	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.32/0.03	0.20/0	0.20/0	/			
概算人件費・・・④		2,635	1,600	1,600					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		4,646	3,645	3,600					
執行状況	執行額・・・⑥		2,010	2,044					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%					
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		調査件数	件	1/1	1/1	/1	0		
	保存処理点数	点	7/7	14/13	/	0			
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		調査件数	件	1/1	1/1	/1	0		
		単位あたりコスト		2,010.0	2,044.0				
保存処理点数		点	7/7	14/13					
単位あたりコスト		287.1	146.0						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	埋蔵文化財の保護の観点からも事業実施の必要性は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	直営ではあるが、事業に必要な業務については複数業者から見積もりを徴取するなどコスト比較をおこなっている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	計画通り事業が実施され有効性は高い
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	失われていく埋蔵文化財の記録保存を行うことができる。		
	今後の課題及び方向性	平成30年度も引き続き周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲内容確認の発掘調査を行う必要性がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見 ・(国庫補助でもあり)とくに意見なし		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	平成31年度も埋蔵文化財の保護を図るため市内において範囲内容確認の調査を実施していく。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	持原古墳群発掘調査事業		640135	担当課	文化・スポーツ振興課	
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	森下邦治	
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)社会教育総務費	決算付属資料	頁	
	施策の大綱	文化財の保護・保存			関連計画等	-	
	施策名	文化財を適切に保護・保存する			根拠法令等	文化財保護法	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )					
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	字正明寺地内でソーラーパネル太陽光発電所設置工事が計画され、計画予定地内に持原古墳群(12基)が含まれることより、記録保存のための発掘調査を実施する。事業費は原因者負担。					
	対象者	埋蔵文化財	対象者数	1	一人当たりコスト	0.00	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (委託先・実施主体等)					
	事業概要	民間事業者の計画変更により実施困難のため実施せず。					
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費	
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①	0	15,000	0	0	
		補正予算等・・・②	0	△ 15,000	0	0	
		繰越し等・・・③	0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源	0	0	0	0	
		国支出金	0	0	0	0	
		府支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	0	0	0	0	
		特定財源名称(H29実績)				頁	頁
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0/0	0/0	0/0	/		
	概算人件費・・・④	0	0	0	0		
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		0	0	0	0		
執行状況	執行額・・・⑥		0	0	/		
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		#DIV/0!	#DIV/0!	/		
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		調査件数	件	0/0	0/1	/	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		調査件数	件	0/0	0/1	/	
		単位あたりコスト		0.0	0.0		
		単位あたりコスト					

		項 目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か		
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か		
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か		
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か		
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか		
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか		
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか		
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか		
	目的及び指標等の達成状況に対する評価			
	今後の課題及び方向性			
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> ・事業未実施のため、見直し等はないが、実施は古墳の発掘調査のため、行政が行う必要がある。また、事業費は原因者が負担となっており、見直しの必要もないと思われる。		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p style="font-size: 24px;">原因者側の実施計画がないため</p>	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p style="text-align: center;">予算額の反映状況(対H30)</p> <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	<p style="text-align: center;">担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	



平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	文化財収蔵庫維持管理事業			640137	担当課	文化・スポーツ振興課		
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	森下邦治			
	歳出費目	款) 教育費	項) 社会教育費	目) 社会教育総務費	決算附属資料	246	頁		
	施策の大綱	文化財の保護・保存			関連計画等	-			
	施策名	文化財を適切に保護・保存する			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	文化財収蔵庫(旧東部保健福祉センター)の維持管理を行い、文化財資料の適切な保管と一括管理を行う。							
	対象者	収蔵庫	対象者数	1	一人当たりコスト	2,492.00			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 総合警備保障(株)京都支社、由良電気設備管理事務所							
	事業概要	文化財収蔵庫の維持管理費							
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		需用費		光熱水費			1,351		
需用費		修繕料			49				
役務費		電話代			83				
委託料		機械警備、電気工作物保守管理委託料			244				
関連事業									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		0	1,446	1,396	0		
		補正予算等・・・②		0	281	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源		0	1,727	1,396	0		
		国支出金		0	0	0	0		
		府支出金		0	0	0	0		
		地方債		0	0	0	0		
		その他特財		0	0	0	0		
		特定財源名称(H29実績)					頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0/0	0.08/0.05	0.08/0.05	/		
概算人件費・・・④		0	765	765					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	2,492	2,161				
執行状況	執行額・・・⑥		0	1,727					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		0.0%	100.0%					
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		資料の維持管理・修繕未解決事項	件	/	0/0	/0	0		
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		収蔵資料毀損件数	件	/	0/0	/0	0		
		単位あたりコスト		0.0	0.0				
		単位あたりコスト		0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	貴重な文化財資料を保管・活用し、未来へ伝えていく施設としての社会的ニーズは高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	建物の維持管理、資料の保管管理は必要最低限に絞っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	実績は収蔵資料を異常なく保管管理することであり、適切に把握を行っている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	資料の維持管理は適切に行われている。現時点での目的及び指標は達成できている。		
	今後の課題及び方向性	施設の老朽化による修繕が必要になる場合もあり、貴重な資料を未来へ引き継ぐため施設のメンテナンスを適宜行う必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高圧からの切替を早急に行い、適切な収蔵品の維持管理を最小限の費用で済ませられるよう、努めること</li> <li>・維持管理について見直しが図られており、早期に執行されたい</li> <li>・維持管理だけでなく事業統合を検討しては</li> </ul>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止/休止</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替</p> <p><input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の見直しなし</p>	<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>文化財整理事業へ統合し、引き続き施設の維持管理を行い収蔵資料の一括管理を行う。</p>	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況(対H30)</p> <p><input type="checkbox"/> 維持    <input type="checkbox"/> 組替</p> <p><input type="checkbox"/> 縮減    <input type="checkbox"/> 廃止/休止</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充</p>	<p>担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	日本の鬼の交流博物館設備改修事業			640208	担当課	文化・スポーツ振興課		
	開始年度	平成21(2009)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	森下邦治			
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)社会教育総務費	決算附属資料	246	頁		
	施策の大綱	文化財の保護・保存			関連計画等	-			
	施策名	文化財を適切に保護・保存する			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	日本の鬼の交流博物館において老朽化した設備の改修を進めることにより、来館者へ快適な観覧環境を提供するとともに、保管資料の適切な管理を行う。							
	対象者	日本の鬼の交流博物館	対象者数	1	一人当たりコスト	3,062.00			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>							
	事業概要	老朽化した施設の修繕、設備の修繕							
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		需用費		展示室壁紙張替・空調修繕			464		
工事請負費		ドア取替工事			1,458				
関連事業									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		0	1,900	2,000	0		
		補正予算等・・・②		0	122	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源		0	122	0	0		
		国支出金		0	0	0	0		
		府支出金		0	0	0	0		
		地方債		0	0	0	0		
		その他特財		0	1,900	2,000	0		
		特定財源名称(H29実績)	地域振興施設維持補修基金			1,900	基金繰入金	38	頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0/0	0.13/0	0.13/0	/		
		概算人件費・・・④		0	1,040	1,040			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	3,062	3,040				
執行状況	執行額・・・⑥		0	1,922					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		0.0%	95.1%					
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		維持管理・修繕未解決事項	件	/	0/0	/0	0		
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		維持管理・修繕実施件数	件	/	3/3	/1	0		
		単位あたりコスト		0.0	640.7				
		単位あたりコスト		0.0	0.0				

		項 目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	館の運営と維持管理上、必要であり優先度も高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	条例・規則に基づいて事業を実施しており、効率的かつ妥当なコストである。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	施設の長寿命化と来館者へのサービスにつながる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	事業の実施により平成29年度の未解決事項はなく、目的は達成されたものとする。	
	今後の課題及び方向性	施設の老朽化が進む中、鬼文化の情報発信基地として維持していく必要があるため可能な範囲の中で適宜建物のメンテナンスが必要である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営事業と統合し、経年的な修繕は計画的に取り組むように</li> <li>・設備改修については年次計画を立てて、総量を把握して進められたい</li> <li>・施設のあり方については、運営事業で指摘した通り</li> <li>・普建調に記載を</li> </ul>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <p style="text-align: center;">内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 廃止/休止</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替</li> <li><input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 事業の見直しなし</li> </ul>	<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>日本の鬼の交流博物館運営事業へ統合し、引き続き経年劣化により痛んだ箇所 の修理を適切に行う。</p>	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況(対H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持    <input type="checkbox"/> 組替</li> <li><input type="checkbox"/> 縮減    <input type="checkbox"/> 廃止/休止</li> <li><input type="checkbox"/> 拡充</li> </ul>	<p>担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	文化財啓発事業 (640209)			担当課	文化・スポーツ振興課		
	開始年度	平成24(2012)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	森下邦治		
	歳出費目	款) 教育費	項) 社会教育費	目) 社会教育総務費	決算附属資料	246	頁	
	施策の大綱	文化財の保護・保存			関連計画等	-		
	施策名	文化財を適切に保護・保存する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	資料館での展示会・体験学習会、指定文化財への説明看板の設置などを通して、本市の歴史的魅力・特徴を市内外にPRするとともに、文化財愛護の意識を普及啓発することを目的とする。						
	対象者	全市民	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.06		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (委託先・実施主体等) (有)七彩プラスチック工芸、佐藤秀治、(有)チームワーク						
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の鬼の交流博物館特別展(年3回)、体験学習会、講演会</li> <li>夜久野町化石・郷土資料館体験講座</li> <li>文化財資料巡回展(図書館・公民館等)</li> <li>博物館、資料館見学用スクールバス運行業務委託</li> <li>指定文化財説明看板設置と更新</li> </ul>						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費		
		旅費	担当者旅費			89		
需用費		消耗品費、印刷製本費			260			
役務費		手数料			76			
委託料		指定文化財説明看板設置、展示委託、運転代行			554			
	使用料及び賃借料	案内看板借上			97			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①	1,391	1,391	0	0		
		補正予算等・・・②	47	△7	0	0		
		繰越し等・・・③	0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源	1,438	1,384	0	0		
		国支出金	0	0	0	0		
		府支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他特財	0	0	0	0		
		特定財源名称 (H29実績)				頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.29/0.1	0.27/0.41	0/0	/		
概算人件費・・・④		2,570	3,185	0	0			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		4,008	4,569	0	0			
執行状況	執行額・・・⑥		1,414	1,076				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		98.3%	77.7%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		鬼博体験学習会参加者数	人	50/50	30/50	/	50	
		化石郷土資料館体験参加者数	人	57/50	34/50	/	50	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		鬼博展示回数	回	3/3	3/3	/	3	
		単位あたりコスト		471.3	358.7			
化石・郷土資料館体験講座	回	1/1	1/1	/	1			
単位あたりコスト		1,414.0	1,076.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・事業の実施については市民のニーズを把握しつつ行っている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・体験学習会などは必要最低限の資材以外は受益者負担である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	事業は計画通り実施されている。展示観覧者や講座受講者からの評価は高い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	事業は計画どおり実施されている。また、指定文化財の説明看板の設置や図書館等での展示なども好評である。	
	今後の課題及び方向性	市民に福知山市の歴史を知ってもらう機会として、資料の展示や講座の開催は有効な手段である。なお、平成29年度棚卸しを受けて、平成30年度からは文化財保護事業と統合し、文化財保護啓発事業として実施していく。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	平成30年度に文化財保護事業と文化財啓発事業を統合し、文化財保護啓発事業として実施。文化財保護啓発のため指定文化財説明看板の設置を引き続き行うとともに、来場者目線の展示実施に重点的に取り組む。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		